

学校評価アンケート(後期)のまとめ

本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。
さて、本校の教育活動のさらなる充実を図るため、保護者の皆様には、アンケートにて評価していただきました。ご協力誠にありがとうございました。また、保護者の皆様による評価と同時に、児童による自己評価を実施して参りました。ここに、その結果をご報告いたします。なお、学校では、この結果をもとに、3学期並びに来年度に向け、よりさらなる改善を目指し、取組を進めます。どうぞよろしく願いいたします。

評価基準	A	よくできている
	B	まあまあできている
	C	あまりできていない
	D	できていない
	E	わからない

項目	経営目標	具体的な方策	1学期評価	回答率 (%)					0% 20% 40% 60% 80% 100%					
				A	B	C	D	E						
	挨拶の励行	A 学校の取組への評価	保護者	34	55	6	0	4						
			児童	66	31	3	1	1						
		B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	25	59	13	1	3						
			児童	59	32	6	3	1						
保護者・児童の皆様から概ね肯定的な回答をいただきました。ご家庭での挨拶への取り組みが向上しました。保護者の皆様も、引き続き日常からお子さんに挨拶の声を掛けていただくよう、よろしく願います。														
豊かな心の育成	いじめの防止	A 学校の取組への評価	保護者	23	54	6	1	16						
			児童	84	13	2	2	1						
		B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	31	64	3	0	2						
			児童	53	39	6	2	1						
学校への取り組みに対する児童からのA評価が13%伸びました。児童の評価のC・Dも若干減少しましたが、日頃からいじめ防止の指導を徹底し、C・Dが0になるよう、児童が安心して通える学校を目指します。														
	異年齢の集団活動	A 学校の取組への評価	保護者	36	52	8	0	5						
			児童	55	28	14	3	1						
		B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	30	57	8	2	4						
			児童	60	30	7	3	1						
どの項目も、ほぼ前期の評価と変わらない数値となりました。新型コロナウイルス対策のため、多数の児童が活動する学習に制限があります。3学期も工夫しながら取り組みを継続させていただきます。														
	基礎・基本の定着	A 学校の取組への評価	保護者	24	63	6	3	4						
			児童	65	31	4	0	1						
		B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	30	58	9	3	1						
			児童	41	45	11	3	1						
自己評価におけるA・Bと回答していた児童が5%減少しました。前学年までの基礎・基本の定着が不十分な児童への指導が課題となっています。1・2学期までの学習を振り返りながら指導をしていきます。														
学力向上	ICTの活用	A 学校の取組への評価	保護者	31	52	6	2	9						
			児童	59	33	6	2	1						
		B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	33	47	13	1	6						
			児童	73	22	2	2	1						
今年度から、一人一台端末の「Chromebook」を活用した学習が始まりました。前期と変わらず、概ね肯定的な回答となっています。ただICTを使用するだけでなく、学力向上に向けた効果的な活用方法を今後も検討していきます。														
	家庭学習の習慣化	A 学校の取組への評価	保護者	32	52	11	2	4						
			児童	82	17	1	0	1						
		B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	39	46	12	3	0						
			児童	40	42	12	6	1						
児童の自己評価におけるA評価が10%減少しました。C・Dの児童は18%と前期と変わらない数値になっています。家庭学習の習慣化は、学力向上につながるので、ご家庭と協力しながら指導していきます。														

体育的 活動の 充実	A 学校の取組への評価	保護者	32	58	4	1	5	
		児童	65	24	7	4		
	B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	43	44	9	4	0	
		児童	68	22	8	1		
新体力テストの結果から、全体的に持久力が劣っていることが分かりました。3学期には、持久力控除のためのマラソン週間が予定されていますが、コロナ禍において実施できないこともあります。工夫しながら体力向上に努めます。								
健康な体	A 学校の取組への評価	保護者	47	48	1	0	5	
		児童	74	19	4	3		
	B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	40	55	3	0	3	
		児童	69	26	3	1		
児童、保護者共に肯定的な回答が5～10%上昇しました。校内でのクラスターを避けられるよう、今後も「新しい生活様式」における衛生指導を徹底していきます。ご家庭でも、引き続き検温等へのご協力、よろしくお願いします。								
生活習慣の 見直し	A 学校の取組への評価	保護者	33	57	3	0	8	
		児童	54	32	8	6		
	B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	40	47	4	1	8	
		児童	49	36	9	5		
この項目では、主に「今井小SNSルール」について質問しました。Chromebookの指導時にインターネットのマナーについても指導しています。ご家庭でも、インターネットを活用するルールについてお子さんと話し合う時間を設けてください。								
地域・家庭との 連携	A 学校の取組への評価	保護者	41	53	4	1	1	
		児童	45	38	13	5		
	B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	28	59	5	1	7	
		児童	41	42	12	5		
全期とほぼ変わらぬ結果となりました。ホームページやお便り等で、学校やお子さんの様子をご家庭にお伝えしています。学校ホームページの「校長ブログ」は毎日更新しています。ぜひ、お子さんと一緒にご覧ください。								
教師の働き方 改革	A 学校の取組への評価	保護者	28	54	6	1	11	
		児童	74	22	2	1		
	B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	23	51	12	2	13	
		児童	45	29	18	7		
この項目は教職員における「働き方改革」についての質問です。前期と比べると、児童はもっと教師と関わりたいと願っているようです。働き方を見直すことで児童と教師が関わる時間を増やせるような改革を進めていきます。								

自由記述欄 多数のご意見・ご感想をいただきました。ありがとうございます。→にて返答いたします。

元主力は個人の特性に理解が深く、子どもの枠を超えて生徒と関わってきたと感謝しています。いつもありがとうございます。

→ありがとうございます。今後も複数の目で児童を見守る体制をつくっていきます。

学期末の持ち帰りの荷物が多いときに、自分の荷物は自分で持つように改めて指導していただけたらと思います。(お道具箱を持たされ、自分の分と2つ運んでなかなか帰ってこないことがあったため)

→詳しい状況を教えていただけると助かります。改めて、学校でも荷物の持ち帰り方を指導します。

基礎学力の向上、自宅学習への指導

→学校でも大きな課題として受け止めています。学力調査の結果を受け、基礎基本の定着を目指し、繰り返し指導していきます。

田んぼでの田植えや稲刈りの行事が復活してほしいです。山が近くにある環境ですので、ぜひ木育を取り入れてほしいです。

→地域の教材を活用していくことは大切なことです。来年度になります。実施を検討していきます。

漢字の小テストをして練習する習慣作りをしていただけると助かります。

→漢字テストに限らず、目標に向けて自ら学習計画を立てられる児童が育つよう、指導していきます。

図書室に様々な資料を増やして欲しいです。

→毎年、少しずつですが増量しています。最新のものをそろえられるよう、整備していきます。

宿題について、毎日漢字・算数・音読があれば良いなと思っています。ドリル以外もあれば

→各学年の実態に応じて、検討していきます。

暴力に対してもっと対応していただきたい

→児童間でのトラブルでしょうか。すぐに指導いたします。具体的な事例があれば、お手数ですがお知らせください。

先生の子供達への態度。やはりキツく接する先生が多い印象。

→児童への接し方は前期学校評価でもご指摘いただきました。校内で研修を行いました。今後とも改善に向け、務めてまいります。

保身ではなく、もっと子どもに寄り添ってください。担任も校長も。

→ご指摘ありがとうございます。具体的な事例があればすぐに改善いたします。